

【日時】2018 年 5 月 12 日 (土) 18 : 00 ~ 20 : 30

【場所】神田さくら館 5 階音楽室 (<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/bunka/007.html>)

【参加】T1 : 2 名 T2 : 2 名 B1 : 2 名 B2 : 2 名

【内容】

①Dear Heart(H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞) : 大山先輩

★一旦通し、再度ポイントを確認しました。

2 コーラス目 Lu でオブリガードで歌う部分ですが、57~58 小節のベース系の四分音符の動きの部分では、57 小節 1 拍目のみ Lu と歌った後は 58 小節目終わりまで u で続けてください。(前回ご案内の通りです)

コーダ後の 59 小節『arms』で 3 拍伸ばしてそのまま 60 小節 1 拍目のフェルマータ、続いて 2 拍目『ne-』のフェルマータ、3 拍目『ver』のフェルマータに行きますので、先にいってしまわないよう指揮に合わせましょう。

今後、大山先輩が全体の強弱や歌い方を色付けされて行かれると思います。全体としてはゆったりとした 3 拍子で書かれています。3 拍の音符は、いっぱい伸ばすよりは言葉の語尾にいくほど自然に弱くなっていくフレージングができると、さらにリズム感が生まれてくると思います。

②Joy To The World(もろ人こぞりて) : 指揮 大山先輩

★一旦『ma』で音を確認し、英語・日本語の歌詞で通しました。

1 番は英語、2 番は日本語で歌います。8 分音符が続くところでの歌詞の入れ方などに注意しましょう。また、『heaven and』などの歌詞ではリエゾン (1 語目の最後の文字と 2 語目の頭の文字が一つの音のように聞こえること) して、『ヘブネイ』みたいな発音になります。(前回ご案内の通りです)

2 小節目の 2 拍目は内声と外声ではリズムパターンが異なり、全者は『1 拍 + 1 拍』ですが、外声は『1.5 拍 + 0.5 拍』になり、ずれて聞こえてくるパターンになっていますので、見失わないようご注意ください。

③Listen to The Lumbs : 指揮 大山先輩

ポイントをハーモニーを中心に確認し、最後に通しました。

5 段目 2 ~ 3 小節では、2 小節では BGm とコードが変わりますので、しっかりと頭から自身の音に入ってください。

7 段目、すべてユニゾンで D の音になっていますが、時折上に浮いてしまうことがあります。ここが浮いて音がばらつきますと、嘆きの悲しみの様子がうまく表現されません。特にテナー系は低い音なので無理に出そうとはせず、ベース系に任せましょう。

16 段目 2 小節目から 18 段目 3 小節にかけての T2 と B2 は『bosum』の『u』のあいまい母音で伸ばしますが、しっかり響きをとらえて歌いましょう。

25 段目『Amen』は、『A-』の音で少し音量をふくらまします。その後『men』では『e』の母音で伸ばし、クレッシエンドしていきながら、最後 FF くらいまで大きくし、最後『m』のハミング音で曲を閉じます。(前回より変更になっています)

④Sydameni Lauulu (A.kivi 作詞 J.Sibelius 作曲) 指揮 辻本

和音の変化の練習もかねて 1 ページ目のみ配布させていただき、はじめ 3 小節のみ和音の変化を確認しました。(E Eaug.Cm) で、普通の?ハモリから移行の和音を通過してまた普通のハモリに落ち着く(解決するとよく表現されますが...) 感覚を聞きあいながら確かめていただきました。ほかの曲にもよくある変化だと思えます。基本ベース系は音が変わらず、テナー系が半音ずつ上がっていきます。半音といえど以外とその幅はあることが感じていただけたのではないのでしょうか。

※ちなみにこの曲はフィンランド語で書かれています。題名は『わがこころの歌』という意味です。ご興味のある方は以下のリンク先を確認ください。後日また追って練習していきます。(フィンランド語も基本ローマ字読みなので、そんなに難しくありません)

<https://www.youtube.com/watch?v=oQl8Ep-t7yo>

⑤群青 (小田美樹作曲・構成 福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生 作詞 信長貴富 編曲)

★54 小節アウフタクトから以降の後半を中心に練習し、最後に通しました。

54~58 小節のオブリガードは、この部分だけを T 2 のメロディ以外のみで見ますと、54 小節が D、56 小節が C になり、55 小節はその移行和音になります。特に T 1 が 55 小節 3 拍目 4 拍目 56 小節目にかけて E F E と特徴的な動きをしますので、F は高め、E は低めにとる意識をすることで、より和音の色の違いが見えてくると思います。

58 小節アウフタクトからのベース系のメロディは、ベース系内で音をできる限り聞きあって合わせるようにしましょう。特に『さんがつの』の『の』の F、『なぜにふかれ』の『れ』の G はしっかり上がり切りましょう。その上で、前回も御伝えした、言葉を中心に、『頭を踏まない』歌い方に気をつけてください。特に『さんがつ』の『ん』や『なぜにふかれ』の『ぜ』は小節の 1 拍目にくるので要注意です。また、61 小節目の『おもう』の『う』は浅すぎないようにお願いします。決して『お』ではありません。ふつとに喋るときに、文章の中で『僕はそう思う...』と発音したとして、その時あえて『思う』の『う』は浅い発音にしたり『お』にしたりしないと思います。つまり普通に文章を読むつもりで歌ってみてください。

62 小節からのユニゾン『ひびけ...』は、盛り上がってくるのは大変いいのですが、どうしても 16 分音符が見えてしまて走りがちになり、全員の思いやパワーが分散されてしまいがちです。落ち着いて、言葉の頭をそろえるつもりで今一度文章を読み直してみてください。

『ぐんじょう』という言葉の『ぐ』がどの場面も少し聞き取りにくくなります。『U』母音なのでどうしても響きにくいのですが、口の中の容積は広く取りながら、通常にしゃべるよりも唇を突き出してみてください。

【次回練習日】

【日時】2018 年 5 月 19 日 (土) 18 : 00 ~ 20 : 30

【場所】神田さくら館音楽室 5 階音楽室

【楽譜】一応下記のもの全て用意だけお願いします。

①Regina Coeli (グレゴリオ聖歌) ②さくら (松下耕編曲) ③Listen to the Lambs (Spirituals より)

④群青 (小田美樹作曲・構成 小高中学校平成 24 年度卒業生 作詞 信長貴富 編曲)

⑤Ave Regina coelorum (V.misukinis 作曲) ⑥Memory (ミュージカル Cats より)

⑦Dear Heart (H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞) ⑧Joy To The World (F.Hendel 作曲)

⑨Sydameni Lauulu (12 日欠席された方は当日お渡しします)

【上記以後の練習日程予定】

国立オリンピックセンターアクセス：<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

神田さくら館アクセス：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

2018年5月23日(水)18:30～20:30 国立オリンピックセンターカルチャー棟 10号室 暗証番号(0918)

2018年6月2日(土)13:30～17:00 国立オリンピックセンターカルチャー棟 37号室 暗証番号(0754)

2018年6月13日(水)18:30～20:30 神田さくら館5階音楽室

2018年6月23日(土)18:00～21:00 神田さくら館5階音楽室

2018年6月30日(土)13:30～17:00 国立オリンピックセンターカルチャー棟 10号室 暗証番号(0825)

2018年7月4日(水)18:30～20:30 国立オリンピックセンターカルチャー棟 10号室 暗証番号(0850)

2018年7月7日(土)13:30～17:00 国立オリンピックセンターカルチャー棟 暗証番号(0007)

2018年7月8日(日)東京都合唱祭(Nグループ11:57出番)新宿文化センター

演奏予定曲・曲順：Listen to the Lambs ,群青

以上です。